
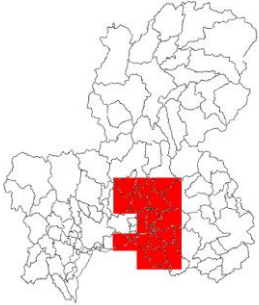


コショウノキ	<i>Daphne kiusiana</i> Miq.	絶滅危惧Ⅱ類
		ジンチョウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(箕浦博之)
形態の特徴	高さ1-1.2mで、上部で疎らに分枝する常緑小低木。葉は互生し、柔らかい革質で、表面に光沢があり、長楕円形～長楕円状倒披針形。側脈はやや整然と伸びる。花期は3-4月。雌雄異株。前年に伸びた枝先の頭状花序に数～10個ほどの芳香ある花をつける。花は白色で、長さ8-10mmで、先が4裂する。初夏に球状楕円形で長さ1cmほどの液果が橙赤色に熟し、噛むと非常に辛い。	
生態的特徴	暖地の林内に生える。	
分布状況	本州(関東南部及び京都府以西)、四国、九州、琉球の暖帯と朝鮮南部の諸島に分布する。県内では県南の中南部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の中南部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 木本Ⅱ」平凡社(1989)	

文責:佐藤和良